

平成 22 年度  
北海道大学大学院理学院  
修士（博士前期）課程  
第二次

自然史科学専攻  
科学コミュニケーション講座

入 学 試 験

（専門科目）

問 題

- 問題は、2 ページ目にあります。
- 解答用紙 2 枚のいずれにも、受験番号と氏名ならびに解答する問題の研究室名と問題番号を書いてください。

問題 以下の8題のうちから2題を選び、それぞれ800字～1200字程度で解答しなさい。

テーマ「科学史」からの出題

1. 西欧において、科学研究と国家との関係が顕著に変化したのはいつごろであり、それはどのような変化でしたか。変化の原因も含め、説明してください。

テーマ「科学技術コミュニケーション・科学技術社会論」からの出題

2. 「トランス・サイエンス」という概念について、その内容を説明するとともに、科学技術コミュニケーションにとっての意義を論じてください。

テーマ「科学哲学」からの出題

3. 科学的实在論に関する論争のうち、实在論者が根拠とする『奇跡論法』とはどのようなものか述べなさい。また、奇跡論法について考えられる反論をいくつか挙げなさい。

テーマ「科学技術とリスク」からの出題

4. リスク分析における、リスクトレードオフとはどのような問題か。具体的な例を挙げて述べなさい。

テーマ「博物館学」からの出題

5. 21世紀の大学博物館のあるべき姿について、「博物財」というキーワードを用い、「行政」の概念を絡めて述べなさい。

テーマ「博物館の使命」からの出題

6. 博物館における先住民族の展示で検討すべき問題はなにか？

テーマ「高等教育」からの出題

7. ヨーロッパ全体で行われた最近の高等教育改革を一つあげ、それについて論じなさい。

テーマ「科学教育」からの出題

8. ケネス・J・ガーゲンの書『あなたへの社会構成主義』の265ページから説明される「教育—共同実践と共同体」の中で批判されている“栄養士モデル”とは何か、またこのモデルが社会構成主義においてなぜ批判されるのかを簡潔に説明しなさい。さらに、これからのあるべき教育について社会構成主義の立場から論じなさい。

受験番号 (       )    氏名

問題番号 (     )

受験番号 (       )    氏名

問題番号 (     )